

安倍首相辞任!

自公政権が進めて来た政治の深刻な行き詰まり

戦争する国づくりを止めさせ国民が主人公の政治を

安倍首相は体調悪化を理由に8月28日(金)、午後5時から辞任会見を行いました。首相を辞任するも政界引退はしません。体調よりも実際は政治的に追い詰められた結果は明らかです。自民党は、党員党友投票を省略して総裁選を行い、両院議員総会で新総裁を決める予定です。党内からも「密室談合」という大きな批判が起こっています。

「後継最有力」とされる菅官房長官は、安倍政権と一体で立憲主義を破壊し、戦争のできる国づくりを進めてきました。また安倍首相からの禅譲を狙っていた岸田氏は、国民生活を根底から破壊して格差を拡大したアベノミクスを「大きな成果」と讃え、改憲についても「重要な課題」と述べています。石破氏は沖縄選出の自民党国会議員に対して、米軍普天間基地の「県外移設」公約を投げ捨てさせ、辺野古新基地建設容認へと転換させました。3人とも

安倍氏自身が身を引かざるを得なくなった「安倍政治」の共同責任を担うべき人たちです。

一方、国民民主党は、「解党」したうえで立憲民主党と合流することを決定(8/19)しました。「合流新党」の結党大会は9月15日予定です。

国会召集は9月17日。臨時国会は首班指名後開催し、10月以降に改めて国会召集すると言います。しかし「総選挙は10月」という話も出ています。どちらにしても私たちは「戦争をする国づくり」や「政治の私物化」を止めさせ、憲法を活かして国民一人ひとりが主人公となる政治をつくるため、草の根の活動を進めます。



県民投票 への道 特集

活動の継続を確認

いばらき原発県民投票の会

いばらき原発県民投票の会は、8月29日(土)午後6時30分から、オンラインによる第27回世話人会を開催しました。全県から19人が参加しました。会議は一人ひとりがやりたいことを出し合い、今後の運動のあり方などを討議しました。確認された基本方針をもとに、今後も協議を継続して運動を進めることを確認しました。

《基本方針》

- ①「いばらき原発県民投票の会」の名称は変えないで継続する。活動の継承性を残します。
- ②東海第二原発再稼働に関して、県民の意志表示する機会(仕組み)を実現することめざし、関連する諸活動を進めます。「諸活動」については今後検討します。

《具体的な活動》

- ①「県民投票」運動の経過とそれに関わる考え方などをまとめた資料を作成します。
 - ・編集部会を設置して、800部～1,000部ほど作成予定。
 - ・資料は関係団体や関心のある個人に配布(有償?)する。ネット上に公開します。
- ②知事や県会議員などに、6月県議会に関連する諸対応について更なる問いかけをします。
 - ・暫定三役で質問状を作成して発信します。
- ③東海第二原発再稼働にあたって、県民がその賛否を表明できる運動を進めます。

《組織関連》

- ①徳田さん(つくば)、姜さん(石岡)が、共同代表・世話人を辞任します。鶴沢さんは共同代表に残ります。
- ②共同代表、事務局長、事務局メンバー等は、次回世話人会で協議します。

「鐘つき護憲表明」と学習会「原発と平和」

9条の会ごか

「9条の会ごか」では、「憲法9条を守りぬこう」を合言葉に、毎年9月9日に「鐘つき護憲表明」に取り組んでいます。今年も同様のとりくみが計画されました。

「憲法9条は人類の灯火」。私たちはこの9条を守りぬくため、一人ひとりの意志を表明する行事として、毎年9月9日9時9分「鐘つき護憲表明」を行ってきています。新型コロナに対する多くの人々の不安に乗じて、自民党幹部の改憲発言が相次いでいます。このような目論みを座視するわけにはいきません。併せて「原発と平和を問う集い」を開催します。

◆「戦争をくり返さない」誓いの鐘つき

とき 9月9日(水) 9:00～11:00

ところ 長命寺

(古河市尾崎3538 電話0102-958-040)



◆学習会「原発と平和」

「首都圏の巨大老朽原発 再稼働させるのか“東海第二”
《2018年11月11日放映・NNNドキュメント・25分》

○事務局：高橋宏光 029-84-0882)

各地域が創造的な力を発揮した原水爆禁止平和行進！

「核戦争阻止」「核兵器廃絶」「被爆者援護連帯」をめざし60年も継続された「平和行進」は、新型コロナ感染予防のため、今年は「歩いての行進」を中止しました。しかし「歩いての行進」が中止になっても、新型コロナの感染と熱中症に十分配慮して、地域ブロックを中心にして実状に見あった創造的な取り組みを進めました。

プラパネ、横断幕などを掲げたスタンディング、宣伝カーを使った取り組み、自治体を訪問し地域の非核行政について要請・懇談などを行った地域もありました。県内全市町村の首長をはじめ、県内の市民のみなさんに熱いご支援と賛同をいただき、また支えられて多様な形で取り組みが行われました。

◆コロナ禍の中でも、積極的な取り組みが進む

「歩いての行進」はありませんでしたが自治体訪問は、土日を除いた7月2日から7月15日の間に実施され、肩書き署名やメッセージを受け取りました。

全国行進リレー旗Iは、県北ブロック(太平洋コース1→水郡線コース→太平洋コース2)⇒県央ブロック⇒県西ブロックI⇒県西ブロックII⇒県南ブロック⇒鹿行ブロックと引き継がれ、千葉県に郵送されました。このコースでは、福島県からの引き継ぎ集会、県庁前集会、百里公園の集会、美浦村と土浦生協前でスタンディング等が取り组まれました。またリレー旗IIは、県西ブロックII⇒常総ブロック⇒千葉県引き継ぎ集会に届けました。全県から集められたペナントポールは広島県原爆記念館前で公開されました。

原水爆禁止世界大会はオンラインで開催。1,000名以上の参加で成功させ、新しい世界大会の参加形態が追求されました。県内各地域で小集会やオンライン大会を視聴するなど、学習と新しい参加の形を作り出しました。

◆財政問題を打開するために

これまでの世界大会と異なり参加料等の徴収などできないため、世界大会の運営だけでなく今後の運営費の捻出が困難になるなど、財政問題が発生しました。

原水禁日本協議会ではこれらの財政を保障するため、5,000万円を目標とする「緊急募金」に取り組み、全国の個人・団体に約6,000通(うち茨城県内は290通)を発送・要請しました。その結果、8月末の集約では全国から約1,700件・1,655万円(うち県内では69件・40万8,000円)が集約されました。黙祷とスタンディングから始め、ヒバクシャ署名を中心とした世界を一周する「平和の波」を8月6日(木)から8月9日(日)まで実施しました。茨城県では8月6日の午後2時から水戸駅南口デッキで署名・宣伝行動に取り組みました。

◆「高校生の描いた原爆の絵」展示のとりくみ

「高校生の描いた原爆の絵」を展示した原爆展(戦争と平和展)は、平和委員会との協力で県内8ヶ所で展示されました。新型コロナ感染に十分に注意しながら開催されました。去年は5セットを自作して活用しました。今年は展示時期が重複したため5セットでは不足となり、平和委員会の伊達さんを中心にして急きょ「2セット」を作成しました。印刷の手違いもあり、新しい2セットは去年の倍の大きさです。経費は5万円かかりました。

展示場所は「かすみがうら平和の会(8/1~15)」、「美和・緒川・御前山平和の会(8/1~10)」、「大宮平和の会(8/3~14)」、「友部平和の会(8/4~16)」、「土浦平和の会(8/6~9)」、「内原平和の会(8/16~30)」、「城里町・新婦人(8/21~23)」、「鹿行平和委員会(8月中)」でした。

◆今後のとりくみ

県原水協は今後の取り組みとして、①世界大会参加者からのアンケートの総括 ②核兵器廃絶デー(9月26日(土)午後1時から水戸駅南口にて)の取り組み ③世界大会記録集「未来パンフ」(9月上旬発行予定)の普及と活用 ④カンパ協力者へのお礼状と自治体への協力と残暑見舞いの送付 等を進める計画です。

◆「ヒバクシャ国際署名」提出は10月。9月がラストスパート！

署名の締め切りは延期しません。9月中旬に届けて下さい。

平和かわら版

「平和の俳句」

川柳を作ってみませんか？



石岡在住の浅野義雄さんから送られた川柳を紹介いたします。作品は安部首相が、自分にとつて都合のいい黒川氏を検事総長に据えようと画策した結果、各界・各層から強い「ダメ出し」をくらった時期の作品です。

浅野さんは「川柳は政権批判を忘れてはいけません。また皮肉(揶揄)、ユーモアも必要です。その上に皆さんとの共感が無くてはなりません。しかし難しいことを言わずに作って見ましょう」と呼び掛けています。

かわら版読者の方々から川柳を募集しています。沢山の応募をお待ちしています。

上ばかり見ると気づかぬ周りの目

棒読みの「真摯な言葉」響かざる

余人では代えがたき人賭け賭博

安倍総理李下に冠よく正す

安倍さんに感謝するほど句ができる

ライバルと裏で囲むや雀卓を

訓告で速く身内の恥を処理



募集要項

- 投句数/三句以内(無季俳句も歓迎)
- 締め切りはあえて設けません。月末までの投稿句を選させていただき、紙面状況により順次掲載させていただきます。
- 応募方法
はがき宛先:
310-0912水戸市見川5-127-281
平和会館内茨城県平和委員会
「平和の俳句」宛
ファクス番号: 029-251-2806
メールアドレス:
ibahei@amber.plala.or.jp
- 住所/電話番号/氏名(ふりがな・ペンネーム可)/年齢をお書きください。

平和新聞 2020年9月5日(土) 2243号(毎月5,15,25日 発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可(1部140円/月額400円/郵送料月額120円)

発行 日本平和委員会

〒105-0014東京都港区芝1-4-9平和会館 Tel.03-3451-6377 Fax.03-3451-6277

平和かわら版[平和新聞茨城版] No.882 2020 9. 5

発行 茨城県平和委員会

〒310-0912水戸市見川5-127-281
Tel/Fax.029-251-2806

e-mail: ibahei@amber.plala.or.jp